

もっと、あなたに響くこと。

J:COM

J:COM インフォメーション



2018年6月6日
株式会社ジュピターテレコム
アスミック・エース株式会社

グループ会社アスミック・エースを通じ 中国での事業展開を開始

株式会社ジュピターテレコム(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井村 公彦)は、100%子会社であるアスミック・エース株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:佐野 真之、以下アスミック・エース)を通じて、中国でコンテンツ関連事業の展開を開始します。

■インキュベーション連合体へ日本企業として初の参画

中国での事業展開の足掛かりとして、本年5月に中国政府系組織『北京一帯一路国際インキュベーション連合体』(以下、ICI)に加盟しました。ICIは、中国企業と海外企業のマッチングを目的に創設された団体です。アスミック・エースは、ICIが加盟企業向けに北京に開設したサテライトオフィスを拠点として、コンテンツやエンタテインメントサービスなどの分野で、中国パートナーとの協議を開始します。



◆ICI 北京サテライトオフィス

■中国企業 小米(シャオミ)との提携

中国の大手総合家電メーカー小米(シャオミ)と、本年4月に日本のVRコンテンツの独占供給契約を、締結しました。アスミック・エースは、小米が6月1日に発売を開始したVRヘッドマウントディスプレイ『Mi VR Standalone』向けに、日本のVRコンテンツを独占的に供給していきます。



◆VR ヘッドマウントディスプレイ
『Mi VR Standalone』

アスミック・エースの映像調達・配信事業では、「J:COM オンデマンド」、KDDI「ビデオパス」にコンテンツを供給するほか、2016年から、台湾の動画配信プラットフォーム「KKTV」に日本コンテンツの供給を開始。一方、映画・ライツ事業では、劇場映画の製作・配給に加え、アニメを中心とするIP(知的財産)ビジネスに事業領域を広げています。

アスミック・エースとJ:COMは、今回の取り組みを起点にアジアのコンテンツ市場や、コンテンツ開発に関する情報収集を進め、アジア市場でのメディア事業の展開の拡大を目指します。

ジュピターテレコムについて www.jcom.co.jp/

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの27社73局を通じて約538万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,142万世帯です。番組供給事業においては、17の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。

※上記世帯数は2018年3月末現在の数字です。

アスミック・エースについて <https://www.asmik-ace.co.jp/>

アスミック・エース株式会社は、日本映画の製作・配給、外国映画の輸入・配給、および映像コンテンツの制作・販売・配信、アニメ・配信オリジナルドラマ・WEBコミック開発など、映画・映像事業およびライツ企画製作事業を総合的に展開しています。また、映像配信事業として、J:COM/KDDIと「J:COM オンデマンド」「ビデオパス」、ケーブルテレビ向けのIP-VODサービス「milplus」を展開しています。